

# 第9章 地域づくり戦略

この「地域づくり戦略」は、「基本方針」の推進に向けて、「選択と集中」の理念のもと、重点的かつ先導的な地域づくりを進めるために、「戦略目標」、「施策の方向」、「施策の展開」を定めるものです。

「地域づくり戦略」は、歴史的経緯や地理的条件、地域特性や課題の類似性、地域間の連携などを踏まえ、「Ⅰ 緑と歴史の里ゾーン」、「Ⅱ 文化と暮らしゾーン」、「Ⅲ 東部地域の玄関口ゾーン」の3つのゾーン（地域）に区分します。

区分をわかりやすくするため、行政センター管轄の地区名等を表記しています。



## I 緑と歴史の里ゾーン（田村・西田・中田地区等）

### 戦略目標1 花と伝統文化の里づくり

- 【施策の展開】
- ①花や伝統文化を生かした地域づくり
  - ②伝統文化の保存と伝承
  - ③人材を生かした地域づくり

### 戦略目標2 高速交通網を生かした活力づくり

- 【施策の展開】
- ①持続的に発展する農業・商業の振興
  - ②地域を支える工業の振興
  - ③感動と出会える魅力ある観光の振興

### 戦略目標3 豊かな自然に囲まれたふるさとづくり

- 【施策の展開】
- ①自然を生かした生活空間の整備
  - ②憩いと潤いのある市街地の形成
  - ③未来をつくる幹線道路の整備
  - ④水郡線（磐城守山駅等）やインターチェンジ、空港を生かした地域づくり



## II 文化と暮らしゾーン（旧郡山地区等）※阿武隈川以東

### 戦略目標1 文化の薫り高い地域づくり

- 【施策の展開】
- ①森の中の文化ゾーンの形成
  - ②若者・夢通りづくり
  - ③新たな拠点づくり

### 戦略目標2 「守る」から「発信」への展開

- 【施策の展開】
- ①特産品づくりを核とした農業の振興
  - ②歴史と文化の情報の発信

### 戦略目標3 潤いと安らぎある美しい街並みづくり

- 【施策の展開】
- ①緑と花、水を生かした生活空間の整備
  - ②自然と調和した潤いと安らぎのある市街地の形成
  - ③磐越東線（舞木駅）を生かした地域づくり



## III 東部地域の玄関口ゾーン（郡山駅東口周辺地区）

### 戦略目標1 出会いと交流の東部地域の玄関口づくり

- 【施策の展開】
- ①人・モノ・情報の交流拠点づくり
  - ②「東北のウィーン 楽都 郡山」にふさわしい玄関口づくり
  - ③広域観光ネットワークの起点づくり

### 戦略目標2 活力と賑わいづくり

- 【施策の展開】
- ①人を惹きつける魅力ある商業地づくり
  - ②都市環境と調和した工業地づくり

### 戦略目標3 魅力ある都市空間づくり

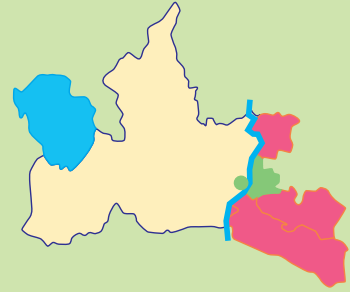
- 【施策の展開】
- ①安全・安心な都市空間の整備
  - ②人が輝く魅力ある郡山駅東口づくり
  - ③安心して移動できる交通体系づくり



## I 緑と歴史の里ゾーン

### [戦略目標]

- 1 花と伝統文化の里づくり
- 2 高速交通網を生かした活力づくり
- 3 豊かな自然に囲まれたふるさとづくり



[田村・西田・中田地区等]

## I 緑と歴史の里ゾーン

### 戦略目標 1

# 『花と伝統文化の里づくり』

### 施策の方向

先人から受け継いだ貴重な財産である自然や、郷土の歴史・伝統文化は、地域の宝であり、地域に風格や愛着心を育み、まちの彩りや地域の誇りとなります。

郷土を大切に作る心豊かな人づくりや魅力と活力ある地域づくりを進めるため、世代や地域を越えた人材の育成を図りながら、地域が一体となった地域資源の保存・継承活動への支援を推進し、さらなる地域への愛着や誇りの醸成を目指します。



上石の不動桜（中田町）

### 施策の体系

#### 戦略目標1

#### 花と伝統文化の里づくり

#### 施策の展開

- ①花や伝統文化を生かした地域づくり
- ②伝統文化の保存と伝承
- ③人材を生かした地域づくり

### ① 花や伝統文化を生かした地域づくり

紅枝垂地蔵ザクラをはじめとした数多くの桜の名所や、江戸時代から盛んに作られてきた高柴デコ屋敷の張子人形、東北最大の前方後方墳である大安場古墳などの地域資源を生かしながら、住む人が誇りを持つことができ、訪れる人々に潤いと安らぎを与えることのできる、自然、伝統文化、史跡が調和した魅力ある地域づくりを推進します。

また、他地域や周辺市町村との伝統文化活動を通じた交流の促進により、相互理解を深め、多様な価値観を理解し身につける機会の充実を図りながら連携強化に努めます。

さらに、本地域固有の自然や伝統文化は、都市住民にとって大きな魅力となることから、都市と農村との交流や小学生の農村宿泊体験受け入れなどによる地域づくりを推進するとともに、旧御館小学校駒板分校を活用した地域コミュニティ（※1）活動の支援を検討します。

### ② 伝統文化の保存と伝承

大安場古墳や雪村庵、柳橋歌舞伎など、先人から受け継いだ貴重な財産である歴史的資源や伝統文化、自然を保存・継承するとともに、新たな資源の掘り起こしを進めます。

また、地域の歴史や文化を大切にし、これらと共生できる子どもたちの育成をはじめとし、地域の公民館における伝統芸能の体験講座などによる情報の発信を進めるとともに、豊富な経験と伝統行事の知識や技能を持つ高齢者等が中心となった後継者の育成や、地域に伝わる民話・伝説の継承活動への支援など、本地域だけでなく、本市全体の誇りとなる伝統文化を次世代に伝える活動を推進します。

さらに、日本の原風景を未来に伝えるため、中山間地域に残る古民家の再生を促進します。

### ③ 人材を生かした地域づくり

町内会や自治会、地域振興協議会など自主活動団体による地域づくり活動を推進し、住民が自ら行う地域づくりや課題解決への取り組みを支援します。

また、地域活動の推進役となる人材の育成や活動拠点の整備・維持に対する支援を行うなど、地域住民が主役の協働の地域づくりを推進します。特に、若い世代が地域活動に参加できるような環境づくりに努めるほか、地域内にある大学の持つ「知」の資源や大学生などの若い力を活用するとともに、他地域や周辺市町村との交流・連携による人材の育成を図ります。

さらに、地域の豊かな自然環境や人材を生かした特色ある学校づくりをはじめ、小中学校が連携した教育の推進などによる教育環境の充実に努め、未来を担う子どもたちを育むとともに、高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って生きいきと安心して暮らせる環境づくり、地域の医療・福祉や子育て支援の充実など、地域全体で支援していく体制づくりを推進するほか、住民の健康増進やスポーツを通じた交流拠点となる、ふるさとの森スポーツパーク等のスポーツ施設の充実などに努めます。



町民運動会の様子（中田町）

## 『高速交通網を生かした活力づくり』

## 施策の方向

地域の活力は、多くの人、モノ、情報等が集まり、交流することから生まれます。

高速交通網を最大限に生かし、人、モノ、情報の交流が活発な地域づくりを目指します。

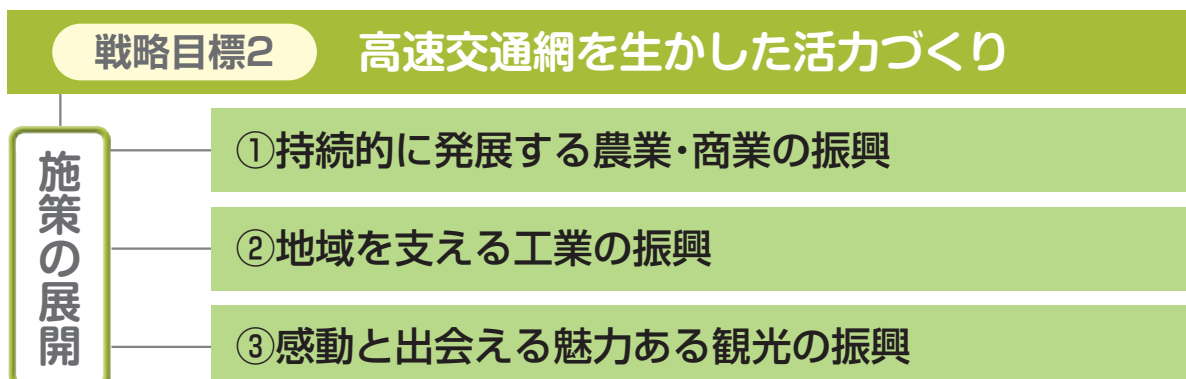
また、地域づくりは、地域のもつ強みを生かすことが重要です。

郡山東インターチェンジや福島空港とのアクセスの容易さなどといった地理的特性をはじめとし、中央工業団地の多様な産業の集積や大学等の研究機関、さらには、桜などの豊富な観光資源など、本地域の強みを生かし、魅力と活力ある産業づくりを目指します。



郡山東インターチェンジ（西田町）

## 施策の体系



### ① 持続的に発展する農業・商業の振興

本地域における農業指導及び営農対策の拠点づくりを進め、園芸や果樹栽培など、地域の特性を生かした特産品づくりやブランド化を推進するとともに、新規就農をはじめ、農業生産組織の法人化や企業参入による新たな担い手の育成、耕作放棄地（※18）の再生支援、農業農村体験による都市と農村との交流の拡大、農道等の農業生産基盤の整備、小中学校の学校給食等による地産地消（※4）の推進、環境保全型農業（※22）の促進など、持続的な活力ある農業の振興により、本市における安心で安定的な「食」の供給に努めます。

また、郡山東インターチェンジを生かした直売施設や農産加工センターなどの整備支援、生産から加工、販売、PRを効率的かつ効果的に行う体制づくりなど商工業や観光との連携による地産地消の推進や販路拡大を進めます。

さらに、生活に密着した特色ある商店街づくりや観光との連携により、地域住民や訪れる人から親しまれる商業地づくりを推進します。

### ② 地域を支える工業の振興

昭和39年の新産業都市（※10）の指定以来、本市の産業を牽引し、地域を支えてきた中央工業団地の企業を中心に、地域産業の振興、良好な生産活動や地域内製造品の利用拡大等を促進するため、基盤整備などの立地環境の充実に努めるとともに、産学官連携（※19）やものづくりインキュベーションセンター（※6）の活用による新規事業の創出や新技術の開発など、特長ある工業の振興を進めます。

また、企業ニーズの把握や情報発信の強化、磐越自動車道や福島空港といった高速交通網を有する特性を生かしたトップセールス（※23）によるさらなる企業誘致の推進を図るなど、地域経済の活性化や雇用機会の拡大に向けた戦略的な企業誘致を推進し、本市産業の一層の振興を図ります。

### ③ 感動と出会える魅力ある観光の振興

桜をはじめとした花、豊かな緑に囲まれた宇津峰などの自然、大安場古墳、高柴デコ屋敷、柳橋歌舞伎といった地域資源の活用や環境整備、ネットワークの強化、新たな地域資源の掘り起こしを推進するとともに、“東部地域らしさ”を生かした体験・交流型観光や滞在型観光の創出、特産品の開発や販売強化、「食」やイベントとの連携を進めるなど、魅力ある観光の振興を図ります。

また、他の地域や周辺市町村などと連携し、それぞれが有する地域資源を効果的に組み合わせることにより、新たな観光ルートを創出するとともに、福島空港の利用促進による積極的な誘客や高速交通網を生かした広域観光ネットワークの構築に努めるなど、戦略的広域観光を推進します。特に、歴史や市民生活において関わりの深い史跡や桜、三春ダムなどの地域資源を含めた観光ネットワークづくりを推進します。

さらに、豊かな歴史的資源を生かし、学習旅行など周辺市町村及び首都圏からの小中学校活動の誘致に努めるほか、観光協会を中心に、地域のボランティア等の参加のもと受け入れ体制の充実や情報の発信を行います。

## 『豊かな自然に囲まれたふるさとづくり』

## 施策の方向

「ずっと住み続けたい」、「住んでみたい」と思える地域づくりのためには、地域への誇りや愛着を持つことのできる地域づくりが必要です。

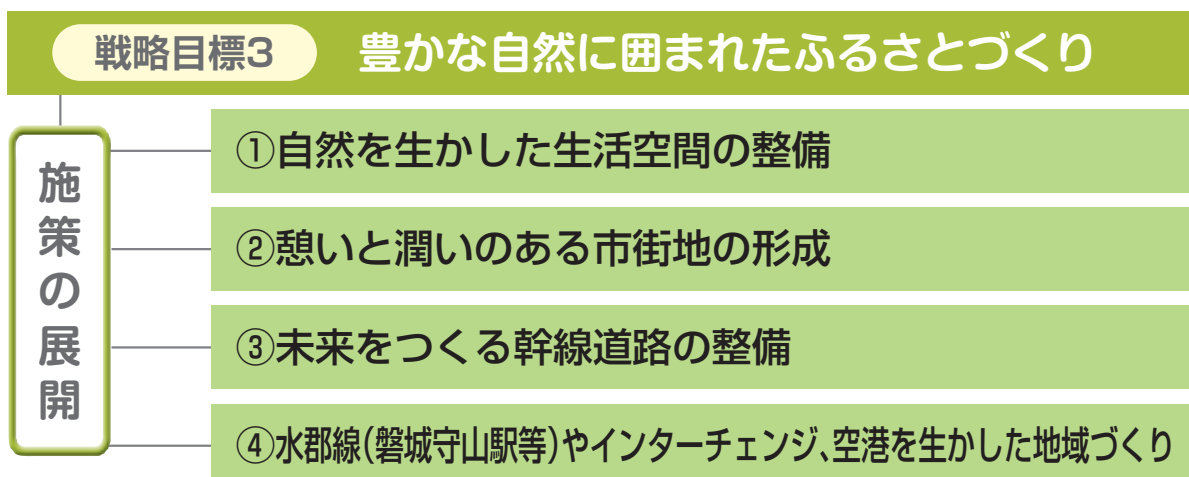
豊かな自然や地域資源を守り生かしながら、自然と調和した安全で快適な生活空間の創出を図るため、開発と保全を明確にしたコンパクトな地域づくりを目指すとともに、駅や公共施設などを核とした地域拠点の形成を目指します。

また、水郡線や福島空港を生かした賑わいづくりなど、市民の生活や活動を支え、交流を育む魅力ある地域づくりを進めます。



大安場古墳の頂上から望む田村町徳定地区（田村町）

## 施策の体系



### ① 自然を生かした生活空間の整備

水と緑、そして花のある地域づくりを推進することにより、自然と共生した安らぎのある生活空間づくりに努めるとともに、子どもたちによる活発なエコ活動や、地域住民による水辺環境の保全、企業による二酸化炭素削減に向けた取り組みなどの環境保全活動を推進します。

また、自然とのふれあいの拠点となる（仮称）東部森林公園の整備を進めるとともに、日本の原風景を未来に伝えるため、中山間地域に残る古民家の再生を促進します。

さらに、通勤・通学時の安全で快適な移動に配慮した身近な生活道路や橋りょうの整備をはじめ、防災・防犯施設の整備や土砂災害等に備えた警戒避難体制づくりなど、安全で安心な生活基盤の整備を推進するとともに、高度情報化の促進、上水道や污水处理施設の整備を進めるなど、魅力的ですべての人が住みやすいユニバーサルデザイン（※9）にも配慮された生活環境の充実に努めます。

### ② 憩いと潤いのある市街地の形成

地域生活の中心となる市街地では、生活に密着した都市機能の充実や生活基盤の整備を図るとともに、地域住民との協働（※13）により、身近な道路や公園などで、四季折々の花や緑に親しむことのできる環境づくりを進め、豊かな自然と調和した潤いのある生活空間づくりを推進します。

また、徳定土地区画整理事業や準用河川徳定川改修事業等による都市基盤の整備、さらには、水辺の潤いに親しむことのできる環境の整備を推進するとともに、浸水対策や防災機能も担う公園の整備を進めるなど、安全で快適な市街地の形成に努めます。

### ③ 未来をつくる幹線道路の整備

交通の円滑化と安全性の確保、さらには、地域の活力や広域的な人々の交流を促進するため、災害への対応に配慮しながら、地域を結ぶ幹線道路である国道288号バイパスや県道小野郡山線石切坂バイパス、市道高倉大善寺線や大田2号線、都市計画道路笹川大善寺線などの整備を推進するとともに、橋りょうの整備を進めます。

また、国道49号の渋滞解消に向けた検討を行います。

さらに、国道288号沿いに位置する西田埋立処分場跡地については、東部地域全体の活性化に配慮しながら、その活用方法について検討します。

### ④ 水郡線（磐城守山駅等）やインターチェンジ、空港を生かした地域づくり

地域生活の中心となる駅や公共施設などを核とした地域拠点の形成を目指すとともに、都市機能を補完し合う他の地域拠点とのアクセス性の向上に努めます。

また、交通結節点となる駅を起点としたNPOや地域住民主導による新たな公共交通体系の構築に向けた取り組みを支援するとともに、鉄道の利用促進や環境整備に努めるなど、地域生活の中心として魅力と賑わいを創出します。

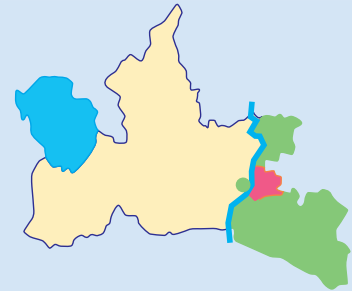
さらに、福島空港とのアクセスの容易さを生かした地域づくりを進めるとともに、今後の社会経済情勢や企業の進出動向を的確に捉えながら、郡山東インターチェンジ周辺の開発を検討します。



## Ⅱ 文化と暮らしゾーン

### 【戦略目標】

- 1 文化の薫り高い地域づくり
- 2 「守る」から「発信」への展開
- 3 潤いと安らぎある美しい街並みづくり



[[旧郡山地区等（阿武隈川以东）]]

## Ⅱ 文化と暮らしゾーン

### 戦略目標 1

# 『文化の薫り高い地域づくり』

### 施策の方向

文化芸術に親しむ機会の充実、住民の豊かな心を育てるうえで重要なことから、市立美術館を文化の発信地とした、また、多様な文化芸術活動の拠点とした地域づくりが求められています。

若者が集い、賑わいのある空間づくりを推進するとともに、気軽に文化芸術に親しめる環境づくりを進めることにより、文化の薫り高い魅力ある地域づくりを目指します。



市立美術館

### 施策の体系

#### 戦略目標1

#### 文化の薫り高い地域づくり

#### 施策の展開

- ① 森の中の文化ゾーンの形成
- ② 若者・夢通りづくり
- ③ 新たな拠点づくり

### ① 森の中の文化ゾーンの形成

四季折々の美しい景観と優れた美術品等に出会える市立美術館を核とし、新たな文化拠点施設の整備を検討するなど、訪れる人々が豊かな感性を養うことができ、くつろぎと交流の場となる“森の中の文化ゾーン”の形成を目指します。

また、企画展等の一層の充実を図るとともに、音楽も含めた文化芸術に気軽に親しむことができる環境づくりに努め、若者をはじめとする自主的な文化芸術活動等の支援を推進します。

### ② 若者・夢通りづくり

「美術館通り」は、緑豊かな文化ゾーンや東部ニュータウンへ続くルートにふさわしい安らぎの創出や、魅力ある景観・環境づくりの推進に努め、若者が集い賑わうことのできる“若者・夢通り”（※15）づくりを目指します。



美術館通り（安原町付近）

また、住民参加による花と緑の道路環境づくりをはじめ、地域住民自らが行う地域活動を支援します。

さらには、若者をはじめ、多くの住民の活動の場である公民館等では、歴史や文化を身近なものとして感じることができる講座や催しを開催するなど、地域の特性を生かした生涯学習活動を支援するとともに、地域コミュニティ（※1）の活性化や郷土愛の醸成を図ります。

### ③ 新たな拠点づくり

市立美術館周辺では、さまざまな歴史・文化活動や交流等を支援するため、風土記の丘公園など、新たな文化拠点づくりを検討します。

また、本地域の子育て支援の拠点となる施設の整備や教育環境の充実を推進するなど、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めます。

さらに、東部ニュータウンにある旧住宅供給公社跡地（広場等）については、東部地域全体の活性化に配慮しながら、その活用方法について検討します。



地域の拠点である緑ヶ丘ふれあいセンター

## 『「守る」から「発信」への展開』

### 施策の方向

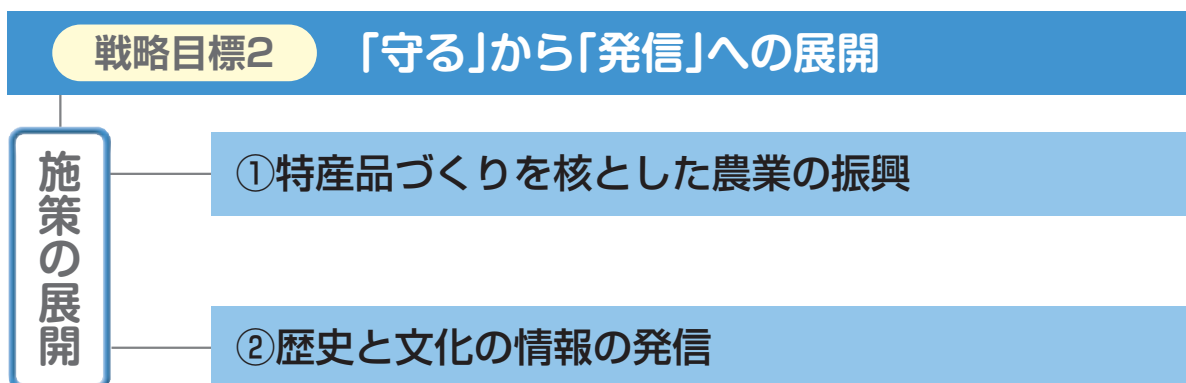
貴重な地域の歴史・文化資源を活用した、魅力的な文化創造空間をつくることは地域住民の心を豊かにします。

また、優れた地元産品を生かした地域おこしは、地域の自信と誇りになります。これらを育て、磨き、魅力を高め、全国に向けて情報を発信します。



芸術・文化の発信地としての役割を担う市立美術館周辺

### 施策の体系



### ① 特産品づくりを核とした農業の振興

郡山ブランド認証産品（※24）である阿久津曲がりねぎをはじめ、きゅうり、トマトなどの特産品を使用した新たな発想に基づく料理レシピの創出や、ブランド産品の積極的なPRを進めることにより、地産地消（※4）の推進や販路拡大を図るとともに、担い手の育成に努め、活力ある農業の振興を目指します。

また、農業農村体験などによる都市と農村との交流を促進し、農村地域の活性化や情報発信に努めます。



阿久津曲がりねぎの収穫の様子

### ② 歴史と文化の情報の発信

訪れる人々が歴史と文化を感じ、ふれることができる見学・体験施設の整備検討や、市立美術館における展示品の充実などにより、“森の中の文化ゾーン”の形成と充実を目指します。

また、大安場古墳などの他の文化資源との連携や観光ルートの整備により、相互の魅力を高め合い、誘客や広域観光の推進を図るとともに、これらを生かし、学習旅行など周辺市町村及び首都圏からの小中学校活動の誘致に努めます。

さらに、本地域の文化拠点として、その魅力と情報を全国へ発信します。



蒲倉古墳跡の見学会の様子

# 『潤いと安らぎある美しい街並みづくり』

## 施策の方向

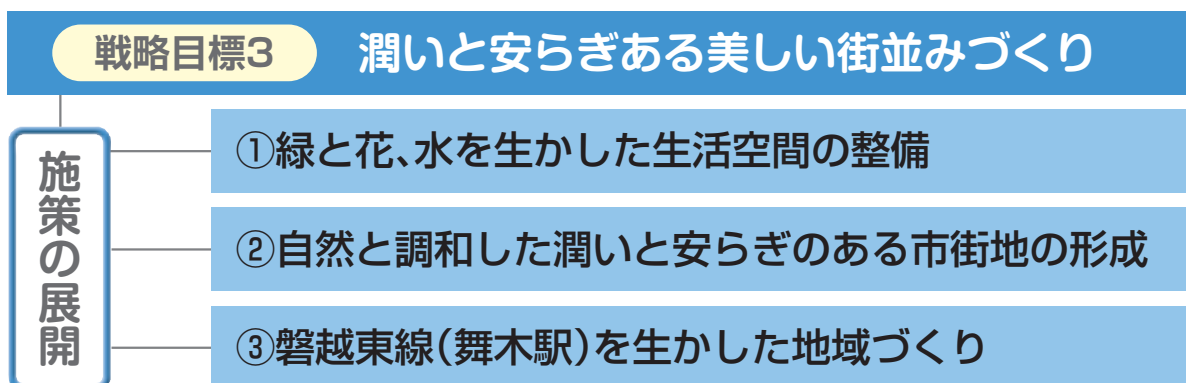
潤いと安らぎのある街並みの形成を図るためには、水と緑、そして花や市立美術館等の文化施設が調和した地域づくりを進めることが必要です。

自然環境の保全や文化的景観に配慮した美しい生活空間を目指します。



東部ニュータウン

## 施策の体系



### ① 緑と花、水を生かした生活空間の整備

市立美術館などの文化拠点が抱かれた緑豊かな森や阿武隈川の潤いを守り生かしながら、水と緑、そして花に囲まれた心安らぐ生活空間づくりを進めます。

また、自然環境に配慮した、安全で快適な通学路の確保をはじめとする身近な生活道路の整備や防災・防犯施設などの充実、さらには、汚水処理施設の普及促進により、すべての人が安全・安心に暮らすことのできるユニバーサルデザイン（※9）に配慮した快適な生活基盤づくりを推進します。



美術館通り（安原町付近）

### ② 自然と調和した潤いと安らぎのある市街地の形成

東部ニュータウン等の市街地では、生活に密着した都市機能の充実や生活基盤の整備を図るとともに、地域住民との協働（※13）により、四季を通じて花の香りがあふれる身近な道路や公園づくりを進めるなど、豊かな自然と調和した潤いと安らぎのある環境づくりを推進します。

また、地域の防犯活動や、その活動拠点の整備を支援するなど、さらなる安全で快適な地域づくりを進めます。

### ③ 磐越東線（舞木駅）を生かした地域づくり

駅を起点としたNPOや地域住民主導による新たな公共交通体系の構築に向けた取り組みを支援するとともに、他の地域や周辺市町村とも連携した利便性の高い広域公共交通ネットワークの構築を目指します。

また、桜などの豊かな自然に囲まれた魅力ある空間を生かした、地域住民による美化活動への支援を推進するとともに、交通結節点となる駅を核とした人が賑わう地域拠点の形成を目指します。

さらに、鉄道の利用促進や、環境整備を促進するとともに、都市機能を補完し合う他の地域拠点とのアクセス性の向上に努めます。

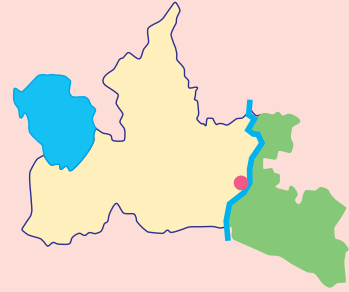


舞木駅（舞木町）

### Ⅲ 東部地域の玄関口ゾーン

#### 【戦略目標】

- 1 出会いと交流の東部地域の玄関口づくり
- 2 活力と賑わいづくり
- 3 魅力ある都市空間づくり



【郡山駅東口周辺地区】

### Ⅲ 東部地域の玄関口ゾーン

#### 戦略目標 1

## 『出会いと交流の東部地域の玄関口づくり』

#### 施策の方向

郡山駅東口は、東部地域の玄関口であるとともに、周辺市町村を含め広域的な交流の場としての役割を担っています。

いつでも、音楽をはじめとする文化や人々とふれあうことができる魅力ある広域交流拠点を目指します。



郡山駅自由通路東口

#### 施策の体系

#### 戦略目標1

### 出会いと交流の東部地域の玄関口づくり

#### 施策の展開

- ① 人・モノ・情報の交流拠点づくり
- ② 「東北のウィーン 楽都 郡山」にふさわしい玄関口づくり
- ③ 広域観光ネットワークの起点づくり

### ① 人・モノ・情報の交流拠点づくり

郡山駅東口周辺は、郡山ブランドや若者文化の発信地として位置づけ、賑わいを創出するイベントの開催など、人々が集い交流する魅力ある環境づくりを進めます。

また、多くの高等教育機関や工場が立地する特長を生かし、若者をはじめとする地域住民や企業等、多彩な主体が共存し連携する多様な地域づくり活動の支援を推進します。

さらに、東北新幹線・東北本線・磐越東線・磐越西線・水郡線が交差する鉄道の要衝として、周辺市町村との都市間交流の促進に努めます。

### ② 「東北のウィーン 楽都 郡山」にふさわしい玄関口づくり

郡山駅東口広場での音楽イベントの開催、音楽をイメージさせるベンチや音楽を奏でるモニュメントの設置、若者を中心とした音楽活動への支援など、誰もが音楽を奏で、音楽に親しむことのできる環境づくりに努め、「東北のウィーン 楽都 郡山」(※21)の名にふさわしい、訪れる人々に、音楽が響き、感じさせることができる、魅力ある個性豊かな東部地域の玄関口づくりを推進します。



音楽をモチーフにしたベンチ

### ③ 広域観光ネットワークの起点づくり

高速交通網を生かし、本地域の豊富な地域資源を結ぶ観光ルートや三春町など周辺市町村との連携による広域観光ネットワークの構築、さらには、その起点としての機能充実に努めます。

また、観光案内など訪れる人々が満足できる受け入れのための環境整備に努め、交流人口の拡大を図ります。



東北新幹線



## 『活力と賑わいづくり』

## 施策の方向

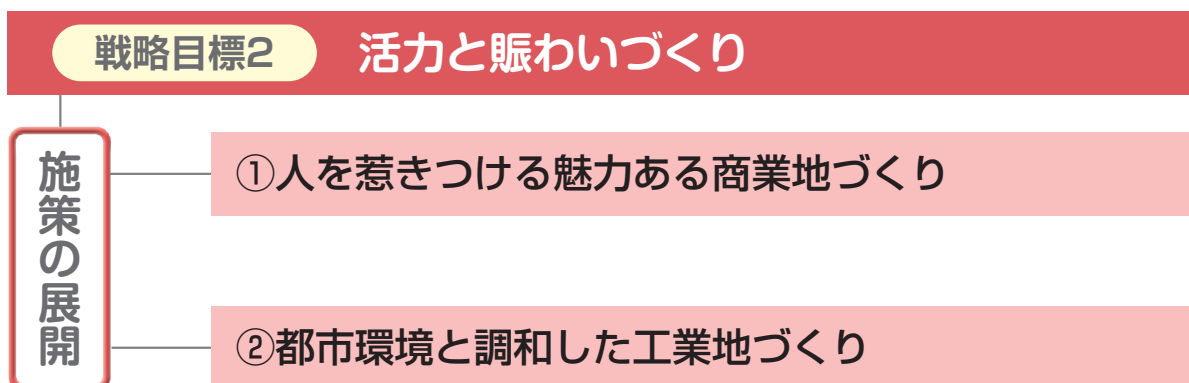
郡山駅東口周辺は、商業施設の充実や工業の振興など、発展の可能性を秘めた地域です。

地域・事業者・行政等が連携して、人を惹きつける魅力のある商業地づくりや、工場の集積等、本市発展を支えてきた歴史的経緯を踏まえ、人や環境と調和した、共存共栄による工業地づくりを進めるなど、賑わいと活力ある空間の創出を目指します。



美術館通り周辺に広がる商業・工業エリア（谷島町・横塚付近）

## 施策の体系



### ① 人を惹きつける魅力ある商業地づくり

経済県都の駅前にふさわしい賑わいと活力ある商業地を形成するため、商業施設の充実を推進するとともに、地域住民を巻き込んだ魅力と賑わいを創出するためのイベントの開催など、周辺商店街の主体的な取り組みへの支援、さらには、空き店舗の有効活用や新規創業者の支援などに努めます。

また、駅西口との回遊性を高め、駅東西地区が相互に補完・連携し、周辺地域の消費者をも惹きつける、地域に活力を与える魅力ある商業地づくりを推進します。



県道小野郡山線沿いに連なる商店街（方八町商店会）

### ② 都市環境と調和した工業地づくり

安積疏水を利用した豊富な「水」と「電力」による郡山駅東口周辺の工場の集積は、本市の発展を支えてきた礎となっています。これらを核とした地域産業の振興や良好な生産活動を促進するため、立地環境の整備を進めるとともに、就労の場の確保に努めます。

また、地域との共存共栄による工業の振興を推進するとともに、自然や住環境などとの調和した環境整備を促進し、魅力と活力ある地域を目指します。



郡山駅東側に広がる工場（谷島町）

## 『魅力ある都市空間づくり』

## 施策の方向

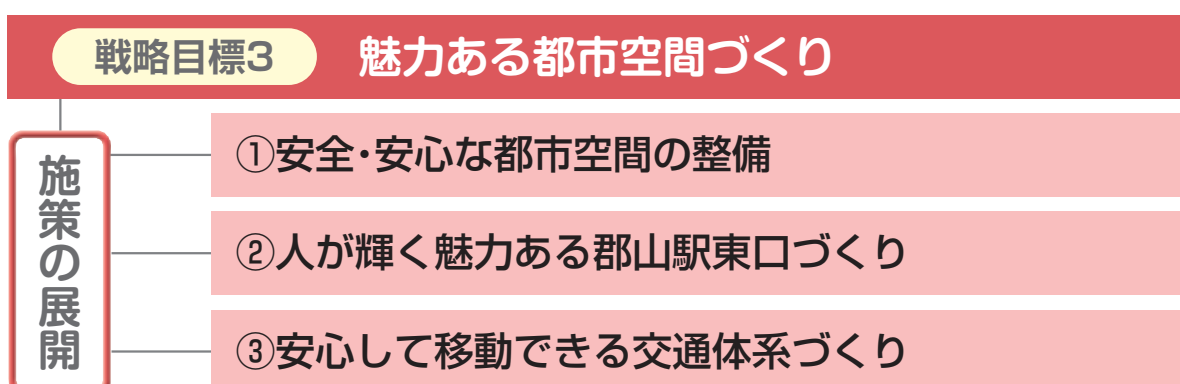
本地域の持続的な発展を図るためには、郡山駅東口を本地域の玄関口としてふさわしい都市機能の充実を図ることが重要です。

駅東口を起点とした交通網の整備、医療福祉施設や賑わいをもたらす商業・集客施設の充実など、本地域の拠点として、安全・安心で快適な都市空間の実現、さらには、中心市街地である駅東西地区が一体となった地域づくりを進め、郡山駅東西地区の均衡ある発展を目指します。



郡山駅東口へ通じる都市計画道路東部1号線（谷島町）

## 施策の体系



### ① 安全・安心な都市空間の整備

郡山駅東口広場をはじめとして、商業施設や医療福祉施設、集客施設といった都市機能の充実や集積を推進するなど、魅力と賑わいの創出を目指します。

また、水と緑、そして花に囲まれたゆとりある居住空間の整備や、公園等の防災空間の整備、浸水対策の強化、水辺空間の保全と活用、低未利用地の有効活用の促進など、すべての人が安全に安心して暮らすことのできるユニバーサルデザイン（※9）にも配慮した都市空間の整備を進めます。

さらには、幹線道路である内環状線や、これらに接続する国道288号バイパス等の整備促進に努めるなど、駅東口へのアクセス性の向上を目指すとともに、安全で快適な道路網の整備や渋滞解消を推進し、広域交流拠点としての機能充実に努めます。

### ② 人が輝く魅力ある郡山駅東口づくり

本地域の玄関口としてふさわしい、交流機能、交通機能、観光機能、情報機能の充実など、人々が集い、交流し、賑わう、憩いと潤いのある魅力的な空間の創出とともに、すべての人が、安全で快適に行き交うことのできる環境づくりなど、駅東西広場を結ぶ自由通路を含めた郡山駅東口広場の一体的な整備の検討を進めます。

また、地域・事業者・行政等が、相互理解のもと、駅東口を中心とし、将来を見据えた共存共栄による地域づくりを進め、魅力と活力のある地域を目指します。

### ③ 安心して移動できる交通体系づくり

郡山駅東口は、本地域における公共交通の起点・結節点となります。

子どもや高齢者など、すべての人が快適に移動できる、新たな公共交通体系の構築に努めるとともに、利用促進を図ります。

また、周辺市町村との連携による広域公共交通ネットワークの構築を目指します。



駅東西地区を結ぶまちなか循環バスの社会実験の様子

# 第10章

# 広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり

近年の多様で複雑な地域課題を解決していくためには、市内外を問わず隣接地域が協力・協調し、豊かで活力ある地域づくりを進めることが必要です。

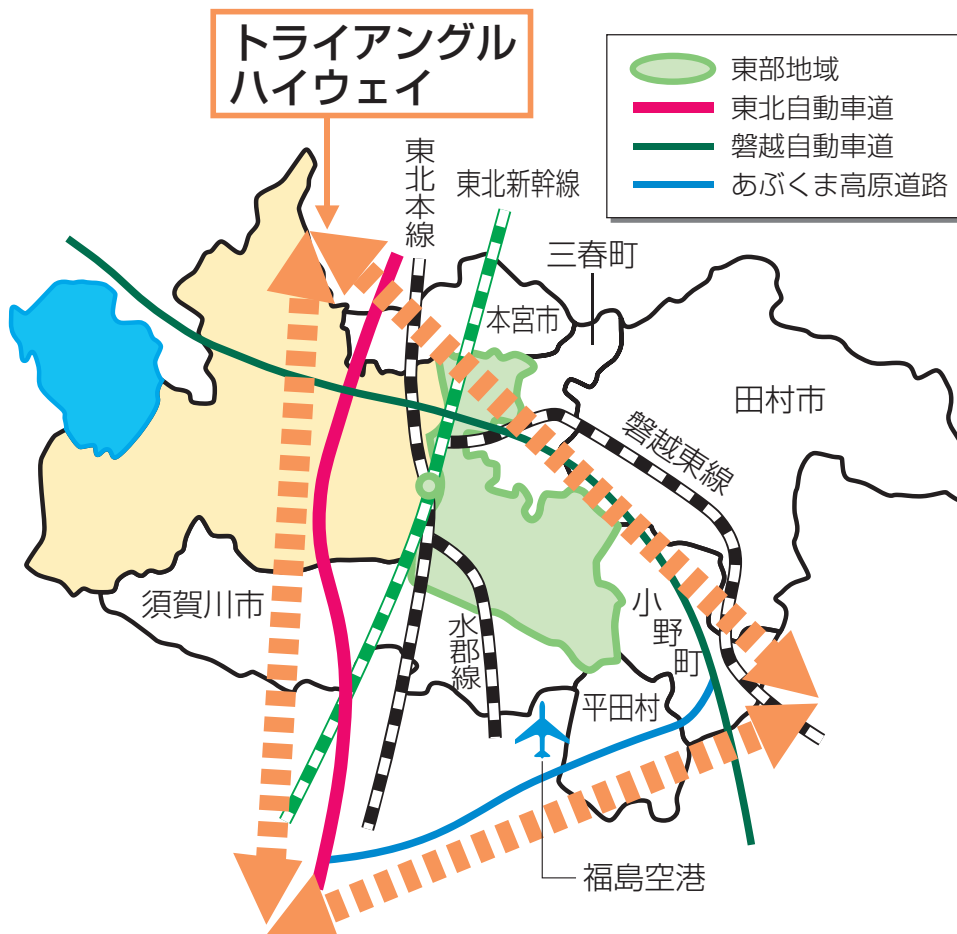
また、地域のさらなる活性化を図るためには、自らの持つ風土や歴史に培われた地域特性を再認識するとともに、各々の地域が相互に交流し、常に新しい視点と活力を取り入れることが重要です。

このような中、本地域周辺では、交流基盤である東北本線や水郡線、磐越東線、さらには、東北新幹線といった鉄道網に加え、東北自動車道や磐越自動車道等の高速道路網を有するとともに、地域振興の拠点である田村市の田村西部工業団地、三春ダムやその周辺施設、平田村の道の駅などの整備が進められています。

特に、今後は、あぶくま高原道路の全線開通に伴いトライアングルハイウェイが形成されることから、本市東部地域が高速交通網の中心に位置するという地理的優位性や交流基盤等を生かし、周辺地域との広域的な交流や連携の強化・促進を図り、持続的に発展する未来へつなぐ地域づくりを目指します。

そこで、施策推進にあたっては、3つの広域的な視点を基本に取り組みます。

## 【本市東部地域に隣接する市町村と高速交通網】



## 広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり

① 地域間交流・連携を支える広域交通ネットワークの整備

② 地域産業振興のための広域連携

③ 市域を越えた持続的に発展する地域づくり

### ① 地域間交流・連携を支える広域交通ネットワークの整備

本地域の周辺をはじめ、県境を越えた地域も視野に入れながら広域的な交流や連携を推進していくため、東北自動車道や磐越自動車道、あぶくま高原道路などの広域的な地域連携軸を生かした広域交通ネットワークの整備を推進します。

また、周辺市町村との連携のもと、郡山駅や舞木駅、磐城守山駅等を起点・結節点とした新たな公共交通体系を構築するなど、鉄道やバスによる広域公共交通ネットワークの形成に努めます。



国道288号バイパス富久山大橋

#### ◆広域幹線道路の整備促進

磐越自動車道やあぶくま高原道路等の高速交通網につながる国道288号バイパスや県道小野郡山線の整備を促進するとともに、市道高倉大善線等の幹線道路の整備を進め、本地域と周辺市町村の地域拠点を結ぶ連結軸や災害等に配慮した広域交通ネットワークを形成することにより、交流人口（※25）の拡大や持続的に発展するコンパクトなまちづくりにつなげます。

また、さらなる福島空港へのアクセス性の向上を図るなど、より利便性の高い道路網の整備に努めます。

#### ◆新たな公共交通体系の構築

郡山駅東口を、本地域の公共交通の起点としてだけでなく、周辺市町村も含めた広域的な交通の拠点としての機能充実を図ります。

また、その他の駅を交通結節点として、各地域でNPOや住民主導による新たな公共交通システムの構築を進めるとともに、周辺市町村と連携しながら、より利便性の高い広域的な公共交通ネットワークの形成を目指します。

## ② 地域産業振興のための広域連携

磐越自動車道やあぶくま高原道路等の高速交通網を生かした広域観光ネットワークの構築など観光の振興を図るとともに、周辺市町村と連携し農産物・特産品の販路拡大や情報の発信を行うなど、広域的なコミュニティビジネス（※26）の促進を図ります。

また、研究開発機能の強化や新たな事業の創出に向けた広域的な連携、環境関連産業の技術交流を促進します。



高柴デコ屋敷の張子・三春駒

### ◆あぶくまらしさを生かした観光の連携

本地域と周辺地域の観光資源をつなぐ広域観光ネットワークを形成し、相互の魅力を高め合うことのできる観光コースの設定や、“あぶくまらしさ”を生かした体験・交流型や滞在型の観光を目指すなど、戦略的な広域連携を推進します。

### ◆連携による魅力の向上と販路拡大

本地域で生産されている特産品の魅力の向上と販路拡大等を図るため、地域を越えて、農業生産者と食品産業等の実需者が連携し農畜産物を安定供給・確保する取り組みや、農業生産者が連携して販売を行うための仕組みづくりを目指すとともに、意欲のある担い手の育成に努め、持続的に発展する農業の振興を図ります。

### ◆工業・技術の交流促進

本地域と周辺地域では、郡山地域高度技術産業集積活性化計画（※27）に基づく市域を越えた一体的な取り組みにより、大学、研究機関を中心とした技術面、経営面、人材面での支援機能の集積や工業立地基盤の整備推進を図るとともに、さらなる交流・連携のもと、各地域の特性に応じた高度技術産業の導入、新たな事業や雇用の創出など、計画地域全体がいわば「工業を育む大きな器」としての役割を担い、産業の活性化を図ります。

### ③ 市域を越えた持続的に発展する地域づくり

少子高齢や人口減少社会の到来による新たな地域課題への対応の必要性が増すとともに、住民の価値観や生活様式の多様化が進み、住民ニーズは高度化・多様化しています。

また、本地域や周辺市町村の多くが既に人口減少時代を迎えており、今後は、安定・成熟した都市型社会への転換が必要です。

これらに対応するため、広域交通ネットワークの整備やそれを生かした産業の連携及び振興を図りながら、それぞれが相互に補完・連携し合い持続的な発展が可能となるような広域的な地域づくりを推進します。



三春ダム

#### ◆広域的な都市機能の補完・連携

伝統・文化・自然等さまざまな地域資源を活用した「潤い」と「安らぎ」の場や、地域の「食」や「生活」を支える産業、さらには、地域生活の核となる都市機能等、本地域とその周辺市町村が持つさまざまな特性を生かした協力体制を構築し、それぞれの持つ都市機能等を相互に補完・連携し合う広域的な地域づくりを推進します。

#### ◆交流・連携を支える交通・都市機能の拠点

郡山駅東口は、本地域だけではなく周辺市町村における玄関口となることから、駅東口につながる幹線道路などのアクセス道路の整備や各種交通手段への乗り換えの円滑化、さらには、商業施設や医療福祉施設をはじめとした都市機能の充実や集積など、本地域とその周辺市町村との広域的な交流・連携拠点の形成を図ります。

#### ◆長期的な視点に立った広域行政の推進

今後の安定・成熟した都市型社会への転換には、市内はもとより周辺市町村と担うべき機能・役割を明確にしながら交流の促進や連携強化を進め、生活環境の維持・改善が必要となってきます。

このため、将来を見据え、長期的視点のもと、補完・連携や新しい枠組みの構築など、新たな広域行政を推進し、安全・安心で魅力ある地域づくりを目指します。